



防災教育視察訪日団 様 御視察資料

京都市教育委員会
体育健康教育室
担当課長 杉本 照代

京都市の学校園

学校・幼稚園数 255 校園

・幼稚園(15) ・小学校(150) ・中学校(64)
・小・中学校(8) ※9年間の教育課程
・高等学校(10) ・特別支援学校(8)

児童生徒数 93,288 人(令和4年度)

教職員数 8,549 人(令和3年度)

京都市の学校教育の方針

一人一人の子どもを徹底的に大切にする

市民ぐるみ・地域ぐるみの教育

「誰一人取り残さない」
という確固たる信念

未来社会の創り手となる
子どもを育むという
崇高な使命・誇り

消防署と連携した防災教育



京都市市民
防災センター



← 地震体験室



↑ 土砂災害体験コーナー



↑ 避難体験室

消防署と連携した防災教育



↑ 消火器取扱訓練



↑ 救命講習



← 消防署見学

地域と連携した防災教育



↑ 避難所設営



↑ 地域の防災訓練
に参加



← 地域の方と一緒に
防災案内看板を作成

京都市の学校園づくり 5つの柱

いのち ～子どもの命をまもりきる～

よりそい ～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～

つとめ ～教職員の職責を自覚し、研鑽することで教育の質を高める～

ひろがり ～カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する～

つながり ～校種間連携・接続により子どもを支える～

京都市の学校教育の方針

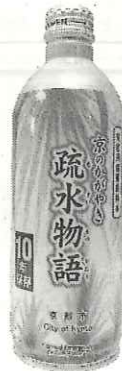
「いのち」～子どもの命をまもりきる～

学校が児童生徒にとって**安全な場所**であるために

- ・ 教職員の安全管理
(点検、危険の早期発見、万一の際の救命措置)
- ・ 児童生徒への**安全教育**
(防災、交通安全、防犯)

京のかがやき 疏水物語

10年間 保存可能な
災害用備蓄飲料水



京のかがやき 疏水物語

京都市民が使用する 水道水の原水は、隣接する滋賀県の琵琶湖から、**疏水**によって運ばれています。

琵琶湖疏水合流点 →
(京都市)

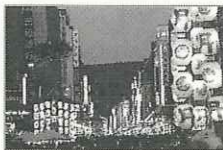


京都市について

～京の三大祭と五山送り火～



↑ 五山送り火
(8月16日)



↑ 祇園祭
(7月1日～31日)



時代祭 →
(10月22日)



↑ 葵祭
(5月15日)

2023年3月7日(火)
台湾教育部・防災教育視察訪日団様

欢迎光临(歡迎光臨)
ファンディングウアンリン

京都市の防災における取組について (Disaster Prevention at Kyoto City)

京都市教育委員会
体育健康教育室
別井 真一



本日の内容

1. 日本の災害
2. 災害から学ぶこと
3. 京都市の防災の取組
4. 命を守りきるということ
5. まとめ

災害大国日本

日本の自然災害

【地震】・【暴風】

【豪雨】・【豪雪】・【洪水】

【高潮】・【津波】

【土砂災害】・【火山噴火】等

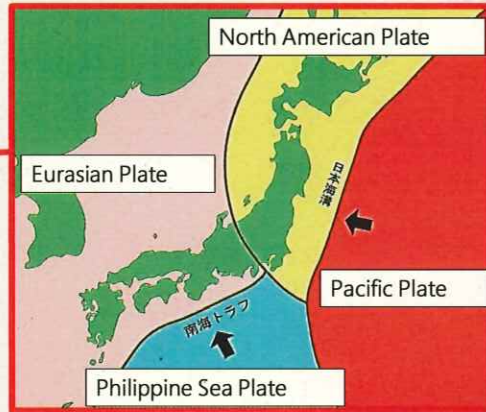
これらの自然災害の発生率が諸外国に比べて高い。

1. 日本の災害

災害大国日本

自然災害の多い3つの理由

①世界には10数枚のプレートがある。そのうち4枚のプレートの上に日本列島がある。

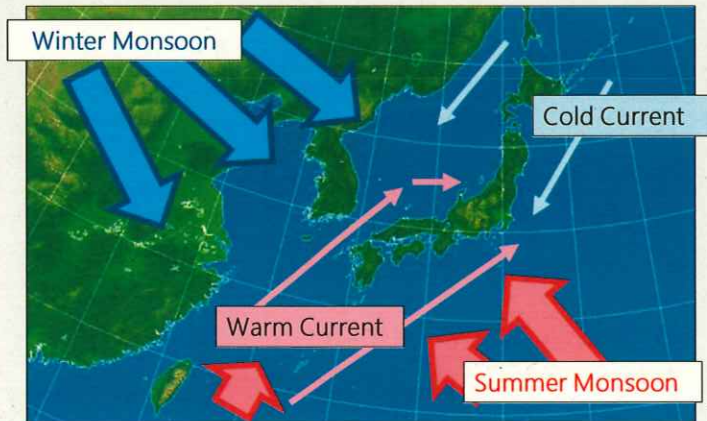


1. 日本の災害

災害大国日本

自然災害の多い3つの理由

②日本は、アジアモンスーン気候地域に属している。
近海を暖流と寒流が流れている。



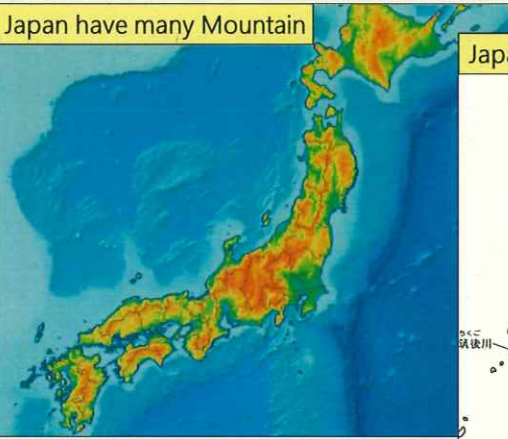
1. 日本の災害

災害大国日本

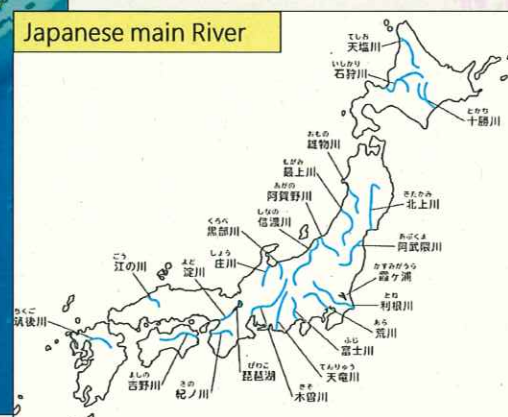
自然災害の多い3つの理由

③日本の国土は、その約70%を「山地」「丘陵」が占めている。

Japan have many Mountain



Japanese main River



1. 日本の災害

災害大国日本

災害に関する日本の特徴

- ・日本の国土面積は世界全体の**0.28%**
 (約1/400)
- ・世界全体に占める日本の災害発生割合
 (約1/5は日本で発生)
 - ➡マグニチュード6以上の地震回数は**20.8%**
 (1996年～2005年)
- ・日本の活火山は世界全体の**7%**
- ・災害被害額は世界全体の**12%**

内閣府 防災白書より

1. 日本の災害

自然災害の多い国 日本

【2022年度の災害:地震】



2022年3月16日 23:36
福島県沖で発生した地震



2022年6月19日 15:08
石川県能登地方で発生した地震

1. 日本の災害

自然災害の多い国 日本

	▼発生時刻	震源地	マグニチュード	最大震度
	2021年02月13日	福島県沖	M7.3	6+
	2019年06月18日	山形県沖	M6.7	6+
	2019年02月21日	胆振地方中東部	M5.8	6-
	2019年01月03日	熊本県熊本地方	M5.1	6-
	2018年09月06日	胆振地方中東部	M6.7	7
	2018年06月18日	大阪府北部	M6.1	6-
	2017年07月01日	胆振地方中東部	M5.1	5-
	2016年12月28日	茨城県北部	M6.3	6-
	2016年10月21日	鳥取県中部	M6.6	6-
	2016年04月16日	熊本県熊本地方	M7.3	7
	2016年04月15日	熊本県熊本地方	M6.4	6+
	2016年04月14日	熊本県熊本地方	M6.5	7

1. 日本の災害

自然災害の多い国 日本

【ここ数年の風水害】



2017年 九州北部豪雨



2018年 西日本豪雨



【宮城県丸森町】
救助活動の様子



2019年10月 台風19号

1. 日本の災害

自然災害の多い国 日本

【ここ数年の風水害】



2020年 熊本豪雨



2022年 Super台風14号

台風14号
(17日 21時 推定)
大きさ 大型
強さ 猛烈
気圧 910 hPa
風速 55 m/s
瞬間風速 75 m/s
南大東島の北東210km
北西 20 km/h



2021年 熱海市伊豆山土石流災害



19日(月)15時
20日(火)15時
21日(水)15時

18日(日)18時
18日(日)6時

強風
暴風

很喜歡 台湾

1. 日本の災害

国内に影響を与えた災害①

阪神淡路大震災

- ・1995年1月17日
5時46分発生
- ・マグニチュード(M)7.3
- ・最大震度7
- ・死者数 6,434名



ボランティア(志工)
活動の輪が広がった。



2. 災害から学ぶこと

国内に影響を与えた災害①

阪神淡路大震災での 被災者の死因

- ・約70%の人が、家屋の
下敷きによる圧迫死
(圧死・窒息死)



2. 災害から学ぶこと

国内に影響を与えた災害①

阪神淡路大震災後の変化

【震度階級に「5強」や「6強」などを新設】



【水栓レバーを下げ止め式に】



【避難訓練の徹底】

< 圧迫死(圧死・窒息死)を防ぐ >

● 自発的な一次避難行動が重要

- ものが落ちてくる。
- カベや建物がたおれてくる。
- ものが移動する。

これらの場所から避難



● 頭部保護(有る物で)



2. 災害から学ぶこと

国内に影響を与えた災害②

東日本大震災

- 2011年3月11日 14時46分発生
- マグニチュード(M)9.0
- 最大震度7
- 死者数 15,899名(R3)



巨大な津波が広範囲にわたって各所を襲った。

2. 災害から学ぶこと

国内に影響を与えた災害②

東日本大震災での 被災者の死因

・約90%の人が、津波による溺死(水死)



世界各国が支援部隊を日本に派遣。その中で、義捐金・政府への資金援助・物的支援・救援部隊派遣に最も動いてくれたのが台湾である。

多謝你

(ドーシャリー)

2. 災害から学ぶこと

国内に影響を与えた災害②

東日本大震災後の変化

防災に対する意識を高める

- 1 想定にとらわれないこと
- 2 最善をつくすこと
- 3 率先し、避難すること

※自分事として考えることが大事

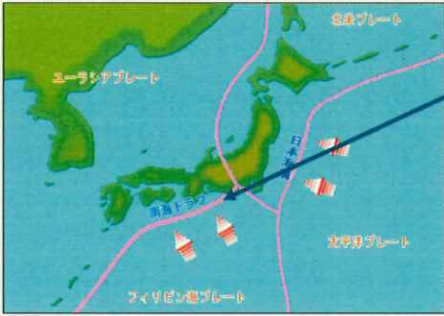
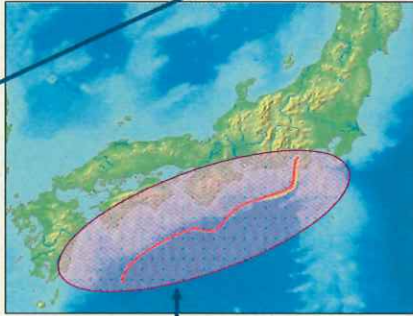
学校現場では、目の前にある「守りたい命」を徹底して守るためにしっかりと備えることが必要。「守れなかった命」を生みだしてはいけない。

2. 災害から学ぶこと

来襲予測災害

南海トラフ地震

南海トラフは、東海から九州南部に続くプレート境界

歴史的には100年から150年ごとに大地震を繰り返している。
直近では、1944年に昭和東南海地震が、1946年に昭和南海地震がそれぞれ発生している。

2. 災害から学ぶこと

来襲予測災害

	発生日	場所・被害	地震規模	影響
203年	◆684年11月29日	●南海・東海・西海地方の地震	M8.3	津波
209年	◆887年8月26日	●南海トラフ内側の地震	M8	津波
3年	◆1096年12月17日	●畿内・東海道の地震 ・京都の諸寺に被害があった。	M8	津波
262年	◆1099年2月22日	●南海道・畿内の地震	M8	津波
137年	◆1361年8月3日	●畿内・土佐・阿波の地震	M8	津波
107年	◆1498年9月20日	●東海道全般の地震	M8	津波
102年	◆1605年2月3日	●東海・南海・西海諸道の地震	M8	津波
147年	◆1707年10月28日	●五畿・七道の地震	M8	津波
同年	◆1854年12月23日	●東海・東山・南海諸道の地震	M8	津波
90年	◆1854年12月24日	●安政南海地震 ・大阪で津波が木津川・安治川を逆流 ・津波は北米沿岸にまで達した。	M8	津波
2年	◆1944年12月7日	●東海道沖の地震「昭和東南海地震」	M8	津波
77年	◆1946年12月21日	●南海道沖の地震「昭和南海地震」 ・西日本各地に津波が来襲。 ・死者推定1330	M8	津波
	現在2023年			

2. 災害から学ぶこと



防災の取組(京都市)

京都市
防災教育スタンダード

—小中学校の各教科・領域における
防災教育の内容とねらい—

京都市教育委員会

KYT
 KIKEN YOSOKU TRAINING
 危険・予測・トレーニング

↑

危険を予測し回避する

防災教育とは、

◆自らの危険を予測し、回避する能力を高める教育。

(自らの危険を予測し、回避する能力を高める「主体的」行動する態度) >>

- ・情報収集の力
- ・情報をもとに予測し、的確に選択・判断する力
- ・自己決定をもとに行動する力
- ・最善を尽くそうとする態度等

<防災教育の基礎となる基本的な知識>口

- ・自然災害(地震や津波・風水害・雷害)が起こるしくみ
- ・災害発生時の行動の仕方(避難の仕方、避難の仕方)
- ・災害による被害を防ぐ(減らす)ための方法
- ・自然の恵恩と災害の関連
- ・自然に対する畏敬の心

3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

KYT

KIKEN YOSOKU TRAINING

危険・予測・トレーニング






自分たちの町の危険を見つけ回避する方法や安全な過ごし方を考える。

3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

KYT

KIKEN YOSOKU TRAINING

危険・予測・トレーニング






避難所が設営された時、気をつけなくてはならないことを考える。

3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

KYT

KIKEN YOSOKU TRAINING
危険・予測・トレーニング

火災時の避難方法や煙が出ているときに気をつけることを学び、実際に避難の演習を行う。



3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

KYT

KIKEN YOSOKU TRAINING
危険・予測・トレーニング

阪神・淡路大震災(1995. 1. 17) 各地の震度



地震であぶないこと

- ・ものが落ちてくる。
- ・カベや建物がたおれてくる。
- ・ものが移動する。(頭を守る)

地震の後、2次被害で火災が起こると、避難しなくてはならないのだが、まずは初めのゆれの時に、自分の身を守る事が大切である。



避難訓練の前に事前学習を行い、気をつけるポイントを学ぶ。

3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

【安全指導スライド例】



土砂崩れの様子



土砂崩れによる家屋被害

人がやまが滑ることができなくなり、たかき人の人の生命に被害を及ぼした。

土砂災害対応 避難訓練 事前学習資料

【土砂災害の発生】

- 1. 早く土砂災害警報伝達放送や土砂災害防止の情報を得る。電報のフリ
- 2. 避難の方式を確認し、できる限
- 3. 土砂向については、土砂の発生
- 4. 崖への避難が困難な場合は、
- 5. 自身の命は守る。

【土砂災害の分類】

 <p>土石流</p>	 <p>地すべり</p>	 <p>がけ崩れ</p>
--	---	---

土石流：山や谷、沢、の土、石、砂、泥、大石や木の枝など、大雨や急流などにより一気に押し流されて、すごい速い流れになるもの。

地すべり：大雨や急流などにより土や石が斜面に流れ、土の粒が滑り落ちて、押し上げられた土層が崩れて、土層が滑り落ちてくるもの。

がけ崩れ：急斜面、斜面高度3メートル以上で、土質が軟弱な場合、大雨や急流などにより土層が崩れ、土層が滑り落ちてくるもの。

【安全指導スライド例】



洪水時の様子



水が溢れている道路

逃がした京都地下街

水害・洪水対応 避難訓練 事前学習資料

【水害・洪水対応】

- 1. 避難する前に、避難場所を確認すること！
- 2. 避難する際は、必ず避難場所まで避難すること！
- 3. 避難する際は、必ず避難場所まで避難すること！
- 4. 避難する際は、必ず避難場所まで避難すること！
- 5. 避難する際は、必ず避難場所まで避難すること！

逃がした京都地下街

避難する前に、避難場所を確認すること！

避難する際は、必ず避難場所まで避難すること！

避難する際は、必ず避難場所まで避難すること！

3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

年代別 防災指導 カリキュラム

平成30年1月



京都市消防局
KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT

消防局作成の資料も活用

I 災害に備える(地震)



II 災害に備える(水災害や土砂災害)



3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

様々な場面を想定した避難訓練



硝子が割れている所、通れない所、障害物等を設置



異常個所による
避難経路の変更

トランシーバー
で状況連絡



3. 京都市の防災の取組

防災の取組(京都市)

考えて行動する 避難訓練

3. 京都市の防災の取組

命を守りきるということ

2012年 京都市小学校で水泳学習中の事故
小学1年生 女子児童の命を失う。

守りたい命を守り切れなかった

学校の責務の重さ

緊急時の対応力不足
※守れるはずの命を
守るスキルを持つ。

学校としての課題

「子どもの命を守りきる」

4. 命を守りきるということ

命を守りきるための取組

リスク・
マネジメント
Risk
Management

二度と
繰り返さないために

クライシス・
マネジメント
Crisis
Management

事故を未然に防止する取組
緊急時に対応できる能力の育成

緊急時対応実地訓練の実施

HANAモデルの拡充

4. 命を守りきるということ

命を守りきるための取組

HANAモデル

教職員が共通理解を図ることで、事故を未然に防ぐとともに、事故等の緊急時には、迅速・適切な対応を連携して行い、子どもたちのかけがえのない命を守りきる取組。

水泳事故対応マニュアル H25.6.14					
本部	記録	現場対応	現場対応補助	児童対応	救急車対応
■ 本部の役割 1. 事故発生時の対応 2. 事故発生時の情報収集 3. 事故発生時の連絡調整 4. 事故発生時の関係機関との連携 5. 事故発生時の関係機関との調整 6. 事故発生時の関係機関との調整 7. 事故発生時の関係機関との調整	■ 記録の役割 1. 事故発生時の記録 2. 事故発生時の記録 3. 事故発生時の記録 4. 事故発生時の記録 5. 事故発生時の記録 6. 事故発生時の記録 7. 事故発生時の記録	■ 現場対応の役割 1. 事故発生時の対応 2. 事故発生時の対応 3. 事故発生時の対応 4. 事故発生時の対応 5. 事故発生時の対応 6. 事故発生時の対応 7. 事故発生時の対応	■ 現場対応補助の役割 1. 事故発生時の対応 2. 事故発生時の対応 3. 事故発生時の対応 4. 事故発生時の対応 5. 事故発生時の対応 6. 事故発生時の対応 7. 事故発生時の対応	■ 児童対応の役割 1. 事故発生時の対応 2. 事故発生時の対応 3. 事故発生時の対応 4. 事故発生時の対応 5. 事故発生時の対応 6. 事故発生時の対応 7. 事故発生時の対応	■ 救急車対応の役割 1. 事故発生時の対応 2. 事故発生時の対応 3. 事故発生時の対応 4. 事故発生時の対応 5. 事故発生時の対応 6. 事故発生時の対応 7. 事故発生時の対応

7つの役割

- 【本部】【記録】【現場対応】
 - 【現場対応補助】【児童対応】
 - 【救急車対応】【保護者対応】
- を連携させることが重要。

4. 命を守りきるということ

命を守りきるための訓練

4. 命を守りきるということ

命を徹底して守る

すべての教育活動の根底にある

「命を徹底して守る」

ということを実践できる力を
大人も子どもも身に付ける。

そのために**備えのギア**を上げる。

5.まとめ